

< 参考様式 2 > (記載例)

令和 年 月 日

国立研究開発法人物質・材料研究機構 御中

合算使用申請書【研究機器】

(所在地) 東京都〇〇区〇〇町

(機関名) 〇〇大学

(部署・職名) 光科学センター 教授

(研究担当者氏名) 科学 太郎

他の研究費との合算による研究機器の調達について、以下の通り申請します。

契約番号	
テーマ名	サブ課題〇〇〇〇
研究開発課題名	〇〇の作製・制御等の〇〇基盤技術
プロジェクト名	〇〇による〇〇の創製

1. 研究機器名：(品名・規格・数量)

設置場所：

2. 見込金額 〇〇〇〇 円

(うち、NIMS 委託研究費による負担額 〇〇〇〇 円)

3. 研究機器の使用者並びに充当する経費及び負担率

別添「研究機器の利用及び経費負担計画」とおり

4. 必要理由

(研究機器の使用目的及び合算購入が必要な理由)

5. 負担率算出根拠

(按分の考え方、購入後の管理方法などについて具体的に記載)

6. 研究担当者の他機関移籍時の取扱い

(特に複数の研究者の資金を合算する場合は、必ず事前に移籍時の取扱いを機関事務局を交えた当事者間で協議し、その結果を、具体的に記載すること。また、現時点における NIMS 研究期間中の移籍の可能性の有無についても記載)

※契約番号、研究開発課題名及びプロジェクト名は契約書に記載されておりますので、そちらを参照の上記入してください。

※合算購入の要件等については、委託研究契約事務処理説明書を参照してください。

< 参考様式 2 >

研究機器の利用及び経費負担計画

研究機器名 :

機器使用者 氏名・所属・職名	配分機関 外部資金もしくは自機関財源の 別(括弧内は事業名、資金名等)	研究期間	資金種別 (委託費・寄付 金・補助金等)	負担率	機器の所有権 (自機関もしくは配分機関)	合算要件クリア (配分機関の了解)
物財 太郎 ○○大学 ○○研究科 教授				%		
				%		
				%		

(留意点)

- ※ 機器使用者は、合算する資金の配分を受けている研究者となります。(例 : NIMS であれば研究担当者、科研費であれば補助事業者)
- ※ NIMS の研究担当者が他機関へ異動となる場合でも当該研究推進に影響が出ないよう(引き続き利用出来るよう)、所属機関の物品管理担当者に確認の上、機器使用者間で協議の上、事前に取り決めください。
- ※ 他の資金の合算要件を満たしているか確認の上(必要に応じて配分元機関にも相談の上)、申請ください。